

◆特集◆ 木が活かされている道の駅



道の駅ふたつ



安井清司駅長

日本海沿岸東北自動車道の延伸に伴う一般国道7号二ツ井今泉道路整備事業により、道の駅ふたつがインターチェンジ等の用地となるため、その土地売り払いや建物の移転補償費等を財源として、新しい「道の駅ふたつ」が昨年7月に移転オープンしました。この道の駅は、木をふんだんに使い、光を大きく取り入れられる窓が特徴で、七座山、きみまち阪、米代川を眺望できる絶好の場所にあります。

今回は、昭和53年に2年連続で能代高校硬式野球部が夏の甲子園に出場したときのシートストップであり、現在は株式会社道の駅ふたついの支配人で駅長の安井清司さんにお話を伺いました。

安井駅長

近年の道の駅ブームもあり、週末だけでなく平日も市内外から多くの利用者が訪れます。多くの木を使用し、天井がアーチ状になっている多目的ホールは、驚きと感動の声をたくさんいただきます。

最初にイベント広場を利用したのは朴瀬小学校の児童さんでした。子供たちが植え付けて育て、収穫した白神ねぎを、教職員やPTAの協力のもと販売しました。開催当日は平日でしたが、子供たちが丹精込めてつくった白神ねぎは見事に完売し、皆さんとても感動していました。

産直コーナーでは、地元の寿司屋の息子さんが手づくりした限定商品の「比内地鶏のだし巻き玉子」など、お客様に喜んでいただけるような商品も出品しております。

今後、日本海沿岸東北自動車道が全線開通となれば、インターチェンジに直結する道の駅として、さらなる利用者の増加が見込まれます。この対応も含め、スタッフのさらなるレベルアップを図るとともに、多目的ホールや屋根付きイベント広場などの施設の活用方法や市外からの利用者への観光セールスを検討していきます。さらに、お客様の声を生かし、日々の改善につなげることに加え、能代の四季折々の魅力を発信していきたいです。

取材を終えて

道の駅ふたついに隣接し、国土交通省が整備した「河川防災ステーション」は、大規模災害に備えた東北地域の総合防災拠点としての機能を持っています。「川の駅エリア」には、3×3（3人制バスケット）のコートや、ドッグラン、カヌー艇庫を備えており、道の駅ふたついと一体的に魅力をアップさせるハード、ソフト面の整備が進んでいきます。

また、2020年度には日沿道の北秋田市今泉から大館能代空港ICまでの区間が開通する見通しで、残された区間の一刻も早い開通が待たれます。

今後も安井駅長や道の駅スタッフ、農産物を出荷している友の会の皆さんなど、関係する多くの方の力を借りて、能代の元気を発信し、豊かな実りを次世代につなぐ道の駅になるよう期待しております。

取材：落合範良 渡邊正人

○道の駅ふたつ営業時間
(24時間営業)

トイレ、授乳室、情報・休憩コーナー、EV充電施設(駐車場内)

(午前9時～午後6時)

総合案内、多目的ホール、展望デッキ、屋根付きイベント広場、産直・物販コーナー、軽食コーナー、歴史・民俗資料コーナー、キッズコーナー(屋内遊具)

(午前11時～午後6時)

レストラン